

館長のカラストーク

小谷眞三「角瓶」2題

今回は小谷眞三さんの作品の中から、2点の「角瓶」を取り上げます。

背の高い「手付角瓶」は10年ほど前に作られたもので、青色に着色されています。もう1点の少し小ぶりのものは5年ほど前の作品で、薄い紫色に着色されています。

これらの作品は「一輪挿し」として用いられる四角い角瓶から展開したものです。角瓶は初めは木型を使い、のちに鉄の金型を使って作るようになったもので、見た目よりもガラスをたくさん使い、丸い器よりも成形が難しいとされています。小谷さんは飄々とした手付きで角瓶を仕上げ、取手をつけ、栓をはめ込みます。このあたりの手さばきと幾分ひょうけたような形は、倉敷を訪れたイギリス出身の世界的な陶芸家、バーナード・リーチが述べたという「上手でもないが下手でもない」「当たり前にできている点大変よろしい」という講評にぴったり符合します。そしてまさにこのことが、小谷さんが民芸作家として物を作る上で一番大切にしてきた心構えだったように思われます。展覧会準備で倉敷市粒江の工房を訪ねた時、小谷眞三さんはリーチのこれらの言葉を今でも心に留めていると話してくれました。



小谷眞三
「手付角長瓶」



小谷眞三
「角瓶」

この二つの作品のうち、「角瓶」の薄くてきれいな紫色が印象に残りました。これは「ブドウ色」という色ガラスを透明ガラスで少し薄めて出した色ということです。「当たり前に作る」といいながらも、その背後にさまざまな工夫が秘められているのです。

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

展覧会情報「倉敷ガラスの展開-小谷眞三・小谷栄次の仕事」2014年9月10日(水)~2015年1月19日(月)

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話 (0868) 44-7888

◆第66回人権週間

12月4日~10日は「人権週間」です

みんなで築こう人権の世紀

〜考えよう相手の気持ち・育てよう思いやりの心〜

世界人権宣言は1948年12月10日に国連で採択され、これを記念して国連では12月10日を「人権デー」と定めました。

日本では、12月4日から10日の「人権週間」までの1週間を「人権週間」と定め、全国各地で講演会の開催や街頭啓発など各種事業を展開しています。誰もが幸せに暮らせるよう、家庭や職場、地域社会、学校生活の中で、差別や偏見をなくし、人権に関する正しい理解を深め、人権を尊重する社会を築きましょう。

※人権問題など悩みごとでお困りの方は、法務局やお近くの人権擁護委員会にお気軽にご相談ください。(無料、秘密厳守)

〈鏡野町の 人権擁護委員〉

○廣田 厚正(円宗寺) ○藤田 知子(香々美)
○池田 初枝(入) ○池田 稲波(河本)
○永田 稔(養野) ○石原 知志(奥津川西)
○松坂 豊三(上齋原) ○山崎 恵子(富東谷)
岡山県地方務局津山支局・津山人権擁護委員会協議会
津山地域人権啓発活動ネットワーク協議会
電話(0868)2219157

林業退職金共済制度(林退共)からのお知らせです

林業の仕事をしていただくがありませんか？

林退共制度に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。

以前、林業の仕事をしていたが、ご自身が林退共へ加入していたか分からない方についてもお調べいたします。

また、羅災された共済契約者及び被共済者の皆様に対し、各種手続(共済手帳の紛失、退職金の請求等)の必要が生じた場合はできる限りの範囲において速やかに対応したいと考えておりますので、最寄りの支部又は本部へお問い合わせ、ご相談下さいようお願いいたします。

お問い合わせ先

独立行政法人勤労者退職金共済機構 林業退職金共済事業本部
TEL 08055 東京都豊島区東池袋1-24-11 ツセイ池袋ビル
電話 03-6531-0887 FAX 03-6531-0860
・詳しくはホームページ(www.rintalkyo.taisyokukin.go.jp/)
http://www.rintalkyo.taisyokukin.go.jp/

